

地域協議会だより

Vol. 23 (2017 年 1 月 4 日発行)

長野県農業農村多面的機能発揮促進協議会
長野市大字南長野字宮東 452-1
長野県土地改良会館別館 3 階
会 長 赤羽 昭彦



Y 新春の候

あけましておめでとうございます。活動組織の皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。本年もなにとぞよろしくお願い申し上げます。

さて、今回の協議会だよりでは、技術研修会の様子をご報告します。



Y 技術研修会

12 月 8 日と 12 日に長野、松本の 2 会場で水路の目地補修の技術研修会を行いました。午前中は、「コンクリート開水路の変状と簡易補修」と「資源向上活動(長寿命化)施工事例と留意事項」の 2 つの講義が行われました。



12 月 8 日(長野会場)



12 月 12 日(松本会場)

講義の中では、「コンクリート開水路の変状と簡易補修」について、主として目地の補修を適正に施工する上での留意点について説明がありました。



講義の中で、説明のあった主な留意事項をいくつか紹介します。

－講義で説明のあった主な留意事項－

- ・多面的機能支払の活動において事故等も発生しており、ヘルメット・手袋（皮製又はゴム製）の着用、火気の取扱いなど作業中の安全確保に努めること。
- ・コンクリートの目地の開き、損傷、縦方向のひび割れの場合、簡易補修が可能。
- ・溝切り(Uカット)に使用するディスクグラインダーの砥石の交換と試運転は、「自由研削砥石特別教育」の受講が必要。
- ・補修材と水路の付着をよくするために、コンクリート面をきれいに清掃して乾燥状態にする。（水中仕様の補修材料を除く）
- ・充填工法の場合、目地の奥行が大きいときは、バックアップ材を使用して、適正な充填厚さとする。
- ・目地材は伸縮する材料を使用するとよい。

また、「資源向上活動（長寿命化）施工事例と留意事項」では、資源向上活動（長寿命化）によって地域の課題を解決した事例の紹介がありました。

午後の実践研修では、補修材料を使用して目地補修の実演と体験をしていただきました。今回の研修では、セメント系の目地材料を用いて2種類の工法で研修しました。



12月8日（長野市川田）



12月12日（松本市芳川）

1つは目地に沿って空隙内部に補修材料を充填する「充填工法」によるもの、もう1つは補修材料をコテや刷毛などで目地の表面を被覆させる「被覆工法」です。

今回実施した2つの工法の特徴は以下のとおりです。

◎充填工法

- ・適用可能な目地幅

6mm以上が適当

- ・作業性

プライマー不要で、かつコンクリート表面を乾燥させる必要はありません。
また、コーキングガンで充填して、表面をコテなどで均すだけで、養生テープは特に必要ありません。



充填工法

◎被覆工法

・適用可能な目地幅

6mm未満(狭い目地幅の場合に使用。また、コンクリート表面に発生した狭いひび割れや局所的な摩耗などの補修にも使用します。)

・作業性

コンクリート表面を乾燥させる必要はありません。刷毛などで表面を塗布します。



被覆工法

なお、どちらもセメント系ですが、コンクリートの膨張・収縮に対して柔軟に対応するとともに、接着性に優れた材料です。また、十分強度を出すには温暖な日に施工することをおすすめします。

次に作業手順です。

充填工法の場合

1 水路内目地の清掃

- ・ゴミや古い目地を取り除き、水とブラシできれいにします。(目地幅が狭い場合は、ディスクグラインダーなどで目地幅を広げます。)



2 材料の準備

- ・補修材料をよく練り混ぜます。(今回の材料は、液体材料と粉体材料を重量比1:1で混合)



3 バックアップ材設置

- ・目地が深い場合は、バックアップ材を設置して充填厚さを調整します。



被覆工法の場合

1 水路内目地の清掃

- ・ゴミを取り除き、コンクリート表面を水とブラシできれいにします。(古い目地は除去不要)



2 材料の準備

- ・補修材料をよく練り混ぜます。(今回使用した材料は、液体材料と粉体材料を重量比1:2で混合)



3 下地材(プライマー)の塗布

- ・プライマーをコンクリート表面に刷毛などで塗ります。



4 補修材料の充填 ・材料を目地に充填します。(たっぷり!!) ・コーキングガンを使うと楽です。 ・充填したらコテで表面を均します。  5 完成 	4 補修材料の塗布 ・補修材料を刷毛などで塗ります(幅は目地幅の3倍以上広く)  5 完成 
---	--

Y 技術研修会のお知らせ

11 月 25 日に上田市稲倉棚田で予定しておりました法面小段の研修は、天候不良のため延期になりました。今年度の法面小段の研修会の開催は、3月に予定しております。詳しい日程が決まり次第市町村を通じてご連絡します。

1月 16 日に事故防止・安全管理の技術研修会を予定しております。多面的機能支払事業の活動時に気を付けることを中心に講習を行います。

日程: 1月 16 日(月) 13:00~16:00(予定)

場所: 松本市合同庁舎講堂

Y 事務局から

今回は、技術研修会の様子をご報告しました。地域の状況により、水路の目地補修で使う方法は変わります。

技術研修会は今後も開催しますので、積極的にご参加ください。

今後とも各地域の様々な事例を皆様に紹介してまいりますので、よろしくお願いいたします。

■問い合わせ先

長野県農業農村多面的機能発揮促進協議会

(担当: 酒井・大井)

TEL 026-219-6351 FAX 026-219-6352

E メール nagano-tamenteki@wonder.ocn.ne.jp

URL <http://www.nagano-nouchimizu.net/>

